

会 派 活 動 報 告 書

平成30年5月31日

岡谷市議会議長

殿

会 派 名 さわやか

代表者名 遠藤 真弓

平成29年度における岡谷市議会 会派「さわやか」の活動について、下記のとおり報告いたします。

活 動 項 目	活 動 内 容 及 び 活 動 の 実 績 と 効 果
調査研究	<p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none">・4/20・21 大津研修（住民とのコミュニケーション・発信力）⇒ア・4/27 陸上自衛隊松本駐屯地視察⇒イ・5/9 会派総会⇒ウ・5/9 湖周行政事務組合最終処分場についての勉強会⇒エ・7/6（株）諏訪広域情報センター（市役所6F）視察⇒オ・7/15 諏訪湖ヒシ除去参加⇒カ・8/3・4 大津研修（子どもの貧困・地域包括ケア）⇒キ・9/4 まち歩きについて（商工会議所）⇒ク・10/12 上浜地区、災害時の情報伝達システムについて⇒ケ・11/10 会派合同ミーティング⇒コ・11/13・14・15・16 会派視察（長崎市街歩き観光事業・多久市小中一貫校教育・福岡市官民協働事業）⇒サ・11/22 ミーティング（予算要望書について）⇒シ・2/1 シルクファクトリー研修⇒ス・3/22・23 会派視察⇒セ <p>○活動の実績と効果</p> <ul style="list-style-type: none">・ア：議会報告会、会派と市民の懇談、個人で開催する懇談などにおいて実施している。努力、工夫を重ねながら試行錯誤段階。住民の抗議の裏に秘める真の思いや願いまでを聞き取る方法のひとつ。発信力については、まずは議会だよりに注力中。・イ：震災後、緊急事態条項新設を求める声があがっているが、一部報道では被災自治体の多くは現行の法律や制度で対応可能としている。岡谷市でも緊急事態条項のみならず、国防、災害に関する請願・陳情を取り扱う為、それぞれの確な判断をする材料となった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ウ：H28年度の活動、会計報告とりまとめ、及びH29年度の活動方針の承認 ・エ：組合長の考え、辰野側の考え、し尿処理の頃の内容、検討されているクローズド型形式の施設の概要を勉強、個人の理解と判断につなげる材料とした。 ・オ：広域における情報の取り扱い、システムの理解につながった。 ・カ：ヒシ除去方法の在り方、住民の考え方を知る機会となった。10月の3ブロック議員研修での講義理解に大いに役立ち、それを踏まえて個々の活動へつなげることができた。 ・キ：子供の貧困は可視化することが難しい為現状の理解が進まない。湯浅氏の講義内容を踏まえ、一般質問を経て、予算要望書で子供の貧困対策として実態把握とプラットホーム事業の連携強化、就学援助の強化を求めた。 ・ク：まちづくりの手段としてまち歩きの良さを知るきっかけとなった。その後市内のコースの1つに参加、また11月の会派視察で講師をたずね長崎の2つのコースの体験を経て市のサポートの在り方を探り、一般質問で提言することができた。 ・ケ：災害時の安否情報、困っている人たちの情報、今現在何をおこなうべきかの判断が可能なシステムを独自で構築し、上浜地区で使用。危機管理の方法として他地域へ波及が可能か、他地域の情報を集める為H30年度へ課題を引き継ぐ。 ・コ：11月会派視察についての事前勉強会、質問点などを会派内で共有することができた。共有することで、違う考え方も頭に入れながら一人よがりにならず考えをまとめられた。 ・サ：詳細をとりまとめ各々の一般質問で活用。公共施設整備における様々な考え方のうち、削減ではなく、持続の方法を学ぶ。老朽化・耐震化、人口減少による施設整備を考える際に役立っている。 ・シ：予算要望書の最終打合せ。11月29日提出。 ・ス：高林館長の講義内容、TV放映された番組内容を踏まえ、3月の視察につなげることができた。 ・セ：世界の中でのシルク岡谷を考えることができた。岡谷の特徴（地域の特徴）がより明確になったことで、今後の岡谷の在り方を探る大切な礎になった。 <p>視察詳細内容については、報告用にまとめ別紙保管。</p>
<p style="text-align: center;">研 修</p>	<p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/10 臨時議会議案勉強会（総務） ・5/31 議案勉強会6月定例会（総務） ・7/13 財務書類4表勉強会（財政課） ・8/30 議案勉強会9月定例会（総務） ・11/28 議案勉強会12月定例会（総務） ・1/22 第5次総合計画関係条例勉強会（企画） ・2/14 議案勉強会3月定例会（総務）

	<p>○活動の実績と効果 内容を聞き、第一段階の質問を率直にぶつけられる必要不可欠な勉強会。本会議までに会派及び個人で考えをまとめ、第二段階、第三段階の質問につなげることができた。</p>
広 報	<p>○活動内容 ・ 11/30 市民新聞で H30 年度予算・施策に対する要望書提出を記事にして貰った。</p> <p>○活動の実績と効果 28 年度と 29 年度と回数を重ねたことで、女性が生活しやすい環境づくりを進めることは男性が生きやすい社会であると理解してもらうきっかけにはなったと思う。</p>
広 聴	<p>○活動内容 ・ 1/30 男女共同参画市民の会との懇談</p> <p>○活動の実績と効果 女性の地位向上において、個々でおこなった商工会議所との懇談、地域のママとの話し合い、企画課の事業見学などとも関連させ、様々な視点からの質問につなげることができた。また、地域においても女性が経験値を上げていくための仕組みづくりの後押し等、予算要望書の重点項目として求めた。</p>
要請・陳情	<p>○活動内容 ・ 11/29 市長、副市長、総務部長、企画制作部長等に「H30 年度予算編成・施策に対する要望書」を提出</p> <p>○活動の実績と効果 「H30 年度予算編成・施策に対する要望書」の内容は、各々の一般質問や、決算、予算審議での要望にも関わってくる、重ねて要請しているという点では一定の効果はあったと考えている。今後はもっと明確に報告できるよう工夫を重ねたい。</p>
そ の 他	<p>○活動内容 ・ 5/31 会派懇談（市長） ・ 9/1 会派懇談（市長） ・ 11/29 会派懇談（市長） ・ 2/15 会派懇談（市長）</p> <p>○活動の実績と効果 市長が、議案や予算のどこにより力を注いでいるのかを知る貴重な懇談である。本議会で判断をする参考にしている。</p>

***活動実績**

- ・ 会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。
- ・ 議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。